

# 2019年 社会情報学会 (SSI) 学会大会 プレカンファレンス

## 計算社会科学と社会情報学 —— その実践と教育

近年、スマートフォンなどの携帯インターネット端末が世界の人々に行きわたりつつあり、ソーシャルメディアをはじめとして、そのような端末を持つ人々を比較的容易に接続するサービスが普及する中で注目されている新たな学問領域の一つに「計算社会科学 Computational Social Science」がある。

今年度のプレカンファレンスは、この学問領域に関する有用な入門書である『ビット・バイ・ビット——デジタル社会調査入門』（有斐閣 2019）の出版を受けて、同書の翻訳者の一人である瀧川裕貴氏（東北大学文学研究科准教授）と、「計算社会科学とその周辺セミナー」を継続的に主催するなど、この領域の研究教育実践に関わってきた川畑泰子氏（群馬大学社会情報学部助教・卓越研究員）をお招きし、この領域の研究が、若手を含む研究者としての我々のあり方のみならず、教育者としての我々のあり方をどのように変えるかについて、研究教育交流を深めたい。

場所：中央大学 市ヶ谷田町キャンパス（中央大学ミドルブリッジ）1F

日時：2019年9月13日（金）17:00～20:00

定員：最大70名程度（一般公開／参加費無料）



Image: <https://www.photo-ac.com/profile/250461> (<https://www.photo-ac.com/>)

### タイムテーブル

16:30～17:00 開場

17:00～17:05 開会挨拶：吉田純（京都大学）

17:05～17:50 第一報告：瀧川裕貴（東北大学）

17:50～18:05 休憩・懇親

18:05～18:50 第二報告：川畑泰子（群馬大学）

18:50～19:05 コメント：遠藤薫（学習院大学）

19:05～19:15 コメントへのリプライ

19:15～19:50 オープンディスカッション

19:50～19:55 閉会挨拶：平田知久（群馬大学）

主催：社会情報学会 研究活動委員会 若手企画専門委員会  
問い合わせ：群馬大学 社会情報学部 比較社会情報学研究室  
（平田: [tomohira@gunma-u.ac.jp](mailto:tomohira@gunma-u.ac.jp)）